

いざという時は、迷わず救急車を！ テキスト

みなさんこんにちは。

川崎市消防局警防部救急課 救急救命士の佐々木です。

みなさん、川崎市内に、救急車は何台あるかご存知ですか？

現在、29 台の救急車があります。実に市民、約 5 万 2 千人に 1 台の割合です。

昨年、1 年間の救急件数は、75,513 件、約 6 分 5 8 秒に 1 件出場していることとなります。

月別では、これからの夏場 7、8 月が増加する傾向にあります。

夏場の救急要請では、暑さから体調を崩し持病が悪化するものや、熱中症なども考えられます。

加えて、今年は、新型コロナウイルス感染症が流行していますので、

感染症による救急要請も心配されるところです。引き続き感染防止を呼び掛けております。

我々が救急出場する時は、ヘルメット、ゴーグル、マスク、手袋、感染防止衣を着装して出場します。

特に意識がない方の活動では、既往症が分からない中で活動するので、感染防止には細心の注意が必要です。

季節に関係なく着装するので、夏場は特に、暑いです。

救急車は、出場 1 回ごとに、車内をアルコールで消毒して、次回の出場に備えます。

特に、患者さんが直接触れる場所は、念入りに消毒します。

これからの暑い時期、もし、こんな症状があったら熱中症を疑い、すぐに 119 番通報をして救急車を呼びましょう。

①自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けないとき

②意識がはっきりしない、全身にけいれんなどの症状があるとき

こんな症状が見られたら、すぐに救急車を呼びましょう。

これから迎える、暑い夏！

こまめな水分補給などの熱中症予防と新しい生活様式で、健康に夏を過ごしましょう。

いざという時は、迷わず救急車を！